

# 令和6年度議案提案説明

# 目 次

1	市政運営の基本的な考え方	
(1)	はじめに	1
(2)	時代の潮流	1
(3)	まちづくりの抱負	1
①	“選ばれるまち”を目指して	1
②	“つながり”を力に	2
③	重点的な取組	2
④	持続可能なまちづくり	4
⑤	都市像の実現に向けて	4
	～つながる人・まち 彩りあふれる 躍動都市・かごしま～	
2	令和6年度当初予算について	
(1)	予算編成の基本的な考え方	5
(2)	歳出予算の主な内容	6
①	信頼とやさしさのある 共創のまち【信頼・共創政策】	6
②	自然と都市が調和した うるおいのあるまち【自然・環境政策】	8
③	魅力にあふれ人が集う 活力あるまち【産業・交流政策】	9
④	自分らしく健やかに暮らせる 安心安全なまち【健康・安心政策】	12
⑤	豊かな個性を育み未来を拓く 誇りあるまち【子ども・文教政策】	13
⑥	質の高い暮らしを支える 快適なまち【都市・交通政策】	16
3	条例その他の案件について	18

## 1 市政運営の基本的な考え方

### (1) はじめに

令和6年度予算案及び条例その他の案件の審議をお願いするに当たり、市政運営についての所信の一端を申し述べますとともに、今回、提案しております予算案等についてご説明申し上げます。

### (2) 時代の潮流

現在、我が国では、不安定さを増す国際情勢や歯止めのかからぬ人口減少、相次ぐ自然災害など、さまざまな課題に直面する中、政府において、物価高騰対策や賃上げの促進などの総合的な経済政策とともに、次元の異なる少子化対策やデジタル技術の活用による行財政改革などの取組が進められています。

地方におきましても、デジタルの力を、社会課題解決の切り札や、新しい付加価値を生み出す源泉として活用し、地域の個性を生かしながら、地方創生の取組を加速化・深化させ、持続可能なまちを築き上げていくことが求められています。

### (3) まちづくりの抱負

このような中、私は、「市民のための市政」を基本に、任期の締めくくりの年として、市民の皆さま方と約束した施策の総仕上げを図るべく、市政運営に持てる力と情熱のすべてを傾けてまいる所存です。

#### ① “選ばれるまち”を目指して

2013年をピークに減少へと転じた本市の人口は、今後さらに減少していくことが見込まれており、労働力人口や消費市場の縮小など、地域社会に

深刻な影響を与えることが危惧されています。

本市が、こうした人口減少時代を乗り越え、将来にわたって活力を維持していくためには、安心・安全に生き生きと暮らせる環境づくりを進めるとともに、充実した都市機能や個性あふれる観光資源など、多彩な魅力をさらに磨き上げ、国内外への効果的なプロモーションを展開することで、子育て世代や若者をはじめすべての方々が“住みたい”、“訪れたい”と感じる、“選ばれるまち”を実現しなければなりません。

## ② “つながり”を力に

去年は、コロナ禍からの再生と飛躍を象徴する大会となった、燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会や、鹿児島ユナイテッドFCのJ2昇格決定などを通じて、選手はもとより、それをサポートするスタッフや応援するファンの力が相まって、想像を超えるパフォーマンスを引き出し、多くの人々に感動と歓喜の輪が広がるシーンを目の当たりにするとともに、こうしたことがシビックプライドの醸成につながることを実感しました。

まちづくりも同様で、市民や事業者、本市に想いを寄せて関わる皆さまがそれぞれ抱く、まちへの誇りや愛着を軸とした、多様な“つながり”を力に、より一層輝く未来の鹿児島市を築き上げてまいりたいと考えております。

## ③ 重点的な取組

このような基本的な認識の下、本市の成長を強力に牽引していくため、次のことを重点的な取組として、まちづくりを進めてまいります。

### “子どもの未来輝き”推進

1つ目は、“子どもの未来輝き”推進です。

子どもが幸せに生き、夢や希望を抱きながら、心身ともに健やかに成長することは、時代を超えた私たちの切なる願いです。

待機児童対策を多岐にわたって総合的に展開するとともに、育児の負担軽減や相談対応の充実など、子育て中の親に寄り添う支援を強化するほか、さまざまな問題から子どもを地域全体で守り育てるため、児童相談所の設置に向けた取組や関係機関との連携、居場所づくりなどをさらに推進します。

また、教育へのICTの積極的な活用や国際的な視野を広げる機会の提供など、新しい時代に活躍できる人材育成にも取り組みます。

すべての子どもが生まれ育った環境にかかわらず、持てる力を最大限に発揮できるよう、子育て家庭と子どもの未来を全力で応援してまいります。

### “地域の稼ぐ力” 向上

2つ目は、“地域の稼ぐ力” 向上です。

コロナ禍を乗り越え、まちがにぎわいと活気を取り戻しつつある今こそ、観光を経済成長のエンジンとして、本市がさらに躍動するチャンスです。

本市観光の付加価値を高めるため、インバウンド対応の強化や多様なツーリズムの展開などにより、観光消費額のさらなる拡大を図り、稼ぐ観光を実現してまいります。

また、まちに新たなにぎわいや活力を生み出す拠点となる、多機能複合型スタジアムの整備に向けた取組を進めます。このほか、鹿児島中央駅や天文館などの交流拠点をつなぎ、歩いて楽しめるまちづくりを推進するとともに、海外への販路拡大や農商工等の異業種連携など、地域産業や農林水産業の生産性・収益性向上を支援し、地域の稼ぐ力を強化してまいります。

### “ICTで住みよいまち” 推進

3つ目は、“ICTで住みよいまち” 推進です。

デジタル技術は、さまざまな社会課題を新たなアプローチで解決に導く力を持っています。

民間と連携し、地域課題の解決にデジタル技術を活用する取組を進めるとともに、行政手続のオンライン化など「行かなくてもいい市役所」づくりを推進するほか、A IやR P A等の活用を図り、市民サービスの向上と業務の効率化を、より一層進めてまいります。

また、誰もがI C Tの恩恵を享受できるよう、市民のリテラシー向上を図るほか、企業立地の推進など、I C T関連産業の振興にさらに取り組めます。

#### ④ 持続可能なまちづくり

急速な人口減少、地球規模で深刻化する環境問題など、私たちを取り巻く状況が目まぐるしく変化する昨今、本市をさらなる成長へと導き、次の世代に引き継いでいくことが、私たちに課せられた責務であります。

中心市街地の活性化や交通環境の充実に取り組むとともに、「ゼロカーボンシティかごしま」を推進するためG Xへの取組を進めるほか、桜島火山防災対策の専門性を高め、危機管理・防災力のさらなる向上を図るなど、持続可能なまちづくりを進めてまいります。

#### ⑤ 都市像の実現に向けて

～つながる人・まち 彩りあふれる 躍動都市・かごしま～

今年、都市問題の解決や国際的なネットワークの形成に寄与してきた、アジア太平洋都市サミットを本市で初めて開催するほか、800年以上も前からの歴史的な縁を紡いできた、鎌倉市との都市交流が始まります。

人や物、情報が行き交い、異なる文化や価値観が触れ合うことは、従来に

ない発想や技術を生み出すとともに、相互の理解と絆を深め、より豊かな社会をもたらしてきました。

大きな時代の変化を迎え、直面する課題の克服に向けて、国や都市を超えた人のつながり、まちの結びつきを新たな未来を切り拓くための原動力としながら、多彩な人材やまちの魅力が豊かな彩りとなる、人もまちも躍動する鹿児島市の実現に邁進してまいります。

## 2 令和6年度当初予算について

### (1) 予算編成の基本的な考え方

次に、令和6年度当初予算について申し上げます。

国においては、足元の物価高に対応しつつ、構造的な賃上げやデフレ脱却と民需主導の成長の実現に向け、GX・DX等の分野での国内投資の促進や、少子化対策・こども政策の抜本強化を含む包摂社会の実現など新しい資本主義の取組を加速させることなどにより、人口減少を乗り越え、経済社会の持続可能性を担保することを目指すとされています。

地方財政においては、人件費の増加が見込まれる中、地方交付税等の一般財源総額について、前年度を上回る額が確保されたところです。

本市においても、歳入面では定額減税の国費補てん分を含めた実質的な市税は増収が見込まれるものの、歳出面では社会保障関係経費や都市基盤整備、デジタルの力を活用した地方創生、物価高騰への対応など、本市を取り巻く喫緊の課題に対応するための施策・事業に多額の費用が見込まれることから、厳しい財政状況が続くものと考えております。

これらのことを踏まえ、予算編成に当たっては、事務事業の峻別・見直しを行うなど創意工夫を重ねる中で、財政の健全性に意を用いつつ、第六次総

合計画を着実に推進するための諸施策に全力で取り組んでまいります。

このような基本的な考え方にに基づき編成いたしました令和6年度の当初予算案は、

一般会計	2, 8 2 5 億 2, 4 0 0 万円
特別会計	1, 3 5 7 億 7, 2 0 0 万円
企業会計	7 8 3 億 6, 5 0 0 万円
総額	4, 9 6 6 億 6, 1 0 0 万円

となりました。

以下、歳出予算の主な内容について、市政の基本目標ごとに順次ご説明申し上げます。

## (2) 歳出予算の主な内容

### ① 信頼とやさしさのある 共創のまち【信頼・共創政策】

まず、第1は、信頼とやさしさのある共創のまちです。

町内会活動の効率化や負担軽減等を図るため、情報発信やオンライン集金等のデジタルツール活用に係る経費を助成するとともに、活動等に対する補助制度の統合や申請手続の簡素化等を行います。

また、合併地域の支所において、住民とともに策定した計画に基づき、個性豊かな地域づくりに取り組むとともに、地域の魅力を発信し、活性化を図ります。

行政手続におけるDXの推進については、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、市民の利便性向上と行政サービスの効率化を強力に進めます。

まず、住民異動手続等における書かない窓口のシステムを本庁・谷山支所で本格運用するとともに、各支所へ拡充し、市民の負担軽減や利便性の向上

を図ります。

新たに広報紙「市民のひろば」のWeb版を配信し、市政情報をスマートフォン等でより便利に分かりやすく提供します。

また、オンライン申請の手続数の拡大やコード決済の導入などによる「行かなくてもいい市役所」づくりを一層推進するとともに、電子契約システムを導入し、事業者の利便性向上を図ります。

ICTで住みよいまちを実現するため、地域アプリを活用し、利用者のニーズに応じた行政情報のプッシュ通知の拡充や公共施設等でのデジタル利用証などの新たな機能を追加します。

また、産学官金が協働して地域のデジタル化を推進するため、かごしまデジタルスマートシティ推進協議会のプロジェクトを支援します。

さらに、庁内DXを一層推進し、行政運営の効率化を図るため、生成AIを導入するとともに、デジタルを活用した業務プロセスの再構築を行います。

ふるさと納税については、民間の専門的知見を活用し、返礼品の掘り起こしやポータルサイトでのPR、クラウドファンディング型などにより、本市のブランド価値向上と寄附額の増を図ります。

また、本市の魅力となる食や特産品などのマーケティングを強化し、認知度向上や新たなファン獲得などに取り組みます。

次代を担う国際性豊かな人材を育成するため、青少年を海外に派遣するとともに、高校生の海外留学に要する費用を助成し、若者が国際的視野を広げるチャレンジを幅広く支援します。

国内外の都市との交流については、アジア太平洋地域の市長等が一堂に会するアジア太平洋都市サミットを本市で初めて本年8月に開催し、都市問題の解決に向けた相互協力やネットワークを構築するとともに、訪れる多くの

方々に本市の魅力を発信し、観光消費の拡大にもつなげます。

また、盟約50周年を迎えるパース市とのマラソンを通じた新たな交流や、盟約55周年を迎える鶴岡市との訪問団による交流を行うほか、長沙市で行われる国際友好都市少年サッカー大会への派遣や、新たに文化・観光交流協定を締結した鎌倉市との交流など、姉妹都市等との友好を深めます。

「マグマシティ鹿児島市」の都市イメージの向上に向けて、市民や事業者、本県出身者等とつながりを深めながら、マグマやきいも電車の運行やSNSキャンペーン等により、若年層や首都圏をターゲットにしたプロモーションを推進します。

また、本市への移住を促進するため、子育て世帯の移住に対する奨励金を拡充するとともに、移住支援コーディネーターを増員し、相談・受入体制の強化を図ります。

さらに、多文化共生の地域づくりを推進するため、外国人住民をサポートする相談窓口の運営や、生活情報ポータルアプリの運用等を行うとともに、女性活躍の一層の推進を図るため、新たに経営者等のための訪問型セミナーを開催します。

## ② 自然と都市が調和した うるおいのあるまち【自然・環境政策】

第2は、自然と都市が調和したうるおいのあるまちです。

「ゼロカーボンシティかごしま」の実現に向けて、官民一体となってGXを推進する脱炭素モデル調査事業を実施するとともに、海中で二酸化炭素を吸収するブルーカーボン生態系の活用を検討するため、アマモの植付けや体験講座等を実施します。

また、シェアサイクルかごりんの走行データ等に基づき、サイクルポート

を増設するとともに、リサイクル対象外としているプラスチック製品の資源化に試験的に取り組むほか、フードシェアリングサービスを導入するなど、食品ロスの削減を進めます。

さらに、庁舎等へのLED照明の導入を推進するとともに、公用車のEV化を加速する拠点整備のための基礎調査を行います。

このほか、粗大ごみのWeb受付と電子決済サービスを導入し、市民の利便性向上を図るとともに、横井埋立処分場の計画的な整備に向けて、実施設計を行います。

甲突川千本桜再生プロジェクト策定に向け、関係機関等と連携した取組を進めるほか、公園緑地の充実を図るため、武岡公園の整備に向け用地取得等を行います。

また、星ヶ峯墓園内に設置した合葬墓を運営するほか、動物愛護に関する施策の方向性などを検討する協議会を設置するとともに、サポーターの活動を支援します。

### ③ 魅力にあふれ人が集う 活力あるまち【産業・交流政策】

第3は、魅力にあふれ人が集う活力あるまちです。

急速に観光需要の回復が進むインバウンドの誘客に向け、ナイトタイムエコノミーのさらなる推進に取り組むとともに、観光イベントの創出や体験型メニューの高付加価値化・販売力強化に向けた取組を支援するほか、飲食店や宿泊施設等における多言語対応や外国人観光客の食の多様性に対応する新メニューの開発等を支援します。

また、大阪・関西万博を契機とした広域連携によるプロモーション等を実施するほか、クルーズ船の受入体制の強化や寄港地観光の推進を図ります。

第4期観光未来戦略の着実な推進に向け、DMOを中心とした観光地域づくりを進めるとともに、観光CRMアプリを活用した地域マーケティングの強化に取り組み、地域特性を生かした観光・交流の推進や観光消費額の拡大を図ります。

また、MICEの誘致に向けた取組を強化するとともに、本市ゆかりのインフルエンサーを本市の多彩な魅力を発信するアンバサダーに委嘱し、鹿児島ファンの拡大を図ります。

令和9年度の西郷隆盛生誕200年・没後150年を契機とした誘客等に向け調査検討を行うとともに、維新ふるさと館の展示物等をリニューアルするための基本計画を策定します。

また、桜島において自然体験型の観光施設の整備に向けた基本計画の策定を行うとともに、船舶事業90周年を記念し、桜島フェリーの出港メロディの制作や写真展等を行います。

さらに、平川動物公園遊園地と錦江湾公園を一体的に活用し、魅力向上を図るため基本構想の策定に向けた取組を進めます。

このほか、磯新駅設置に向け、鉄道施設に係る工事費を負担するとともに、新駅開業イベント等を実施します。

まちに新たなにぎわいや活力を生み出す拠点となる、多機能複合型スタジアムの整備に向けた取組を進めます。

また、鹿児島ユナイテッドFCや鹿児島レブナイズによる市内外での公式試合等を通じた観光PRを行うとともに、ホームゲームでのにぎわい創出などの活動を支援するほか、本市をキャンプ地とする東芝ブレイブルーパス東京のホーム戦において鹿児島デー等を実施します。

さらに、鹿児島アリーナの機能強化に向け、観客席等のリニューアルの基

本・実施設計を行います。

このほか、幅広い世代が参加しやすいeスポーツイベントを実施するとともに、スケートボード等専用施設の整備に向けて、基本構想・基本計画の策定に取り組みます。

中小企業者を対象に、デジタル広告の活動を支援するとともに、販路拡大を図るためのマッチング商談会を開催するほか、地域商社の海外への販路拡大に係る経費を助成します。

起業家支援として、市内のスタートアップ等と大企業や投資家等とのマッチング機会の創出を図るとともに、高校・大学に起業家を講師として派遣し、若い世代の起業意識の醸成を図ります。

市内クリエイターの活用に係る経費を助成するとともに、その成長促進のため、ビジネススキルの向上や交流を深めるイベントを開催するなど、クリエイティブ産業のさらなる活性化を図ります。

また、雇用機会のさらなる拡大に向け、東京圏の大学生が、本市への移住に向けた就職活動に要する交通費を助成するとともに、留学生を対象にツアー型職場見学会を開催し、卒業後も本市で活躍する人材の確保を図ります。

さらに、本市への企業立地推進のため、現地視察等に対し助成するとともに、立地した企業への職場見学会を開催し、人材確保の支援を行います。

このほか、中心市街地における空き店舗への出店や、にぎわい創出を図るイベントの開催、天文館通電停前のジョイントアーケードの新設に対し助成します。

農林水産業の振興については、都市農業センターにおいてスマート農業技術の実証や研修を行うとともに、先端機器の導入や海外研修に要する経費に対し助成するほか、農道等の情報を確認できるタブレット端末を導入します。

また、有害鳥獣による農作物等への被害を防止するため、電気柵等の導入やICTの活用等による捕獲活動の強化を図ります。

さらに、森林経営管理制度の推進や竹林の適切な管理を支援するとともに、飼料自給率の向上を図るため、国産粗飼料を確保する取組を支援します。

#### ④ 自分らしく健やかに暮らせる 安心安全なまち【健康・安心政策】

第4は、自分らしく健やかに暮らせる安心安全なまちです。

高齢化対策の推進を図るため、地域包括支援センターに配置する生活支援コーディネーター等を増員し、地域の多様な関係者等による支援体制の充実を図るとともに、効果的な介護予防活動の推進のため、通いの場にタブレット端末を導入します。

また、認知症に関するクイズ等を通じて、認知症の予防や早期発見等につなげるホームページの作成や、介護人材を確保するため、関係団体等と連携し、合同就職説明会や魅力発信等に取り組みます。

さらに、物価高騰の負担軽減を図るため、介護サービス事業所等の食材費等に対し助成します。

地域共生社会の実現に向け、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに、関係機関や地域が連携して対応する重層的支援体制を整備し、相談支援等に一体的に取り組みます。

また、言語としての手話への理解の促進及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例に基づき、その周知や障害者への理解促進の気運を醸成し、意思疎通支援の充実を図る取組を進めます。

さらに、重度心身障害者等医療費助成について、自動償還払い方式に変更し、利便性の向上を図ります。

健康・医療の充実に向け、乳がん検診に超音波検査を導入するとともに、SMS（ショートメッセージサービス）による受診勧奨等により、特定健康診査の受診率向上を図るほか、妊婦への栄養指導や健康管理の支援を強化します。

また、感染症対策として、防護衣等の備蓄など新たな感染症の発生に備えた取組を強化するほか、梅毒などの特定感染症の検査手数料を無料化します。

病院事業では、再整備計画に基づき、感染症病棟の独立化などを目的とした増築工事に着手するとともに、医療DXの推進や高度医療機器の整備を進めることにより、診療体制の充実や患者の利便性向上を図ります。

客引き行為等の禁止に関する条例に基づき、対策指導員による巡回や指導等を行うとともに、犯罪被害者等支援の充実を図るため、犯罪被害者等支援条例（仮称）を制定します。

桜島火山防災対策として、火山専門家を登用し、大規模噴火時の避難に係る研究等を行う桜島火山防災研究所（仮称）の設置に向けた準備を進めます。

また、増加する救急需要に対応するため、非常用救急自動車を増台し、体制強化を図るとともに、医療の早期介入や映像情報の共有化のため、現場中継システムの効果的な活用に向けた評価、検証を行います。

さらに、災害発生による停電時の電源確保のため、新たに蓄電池を備蓄するとともに、避難所に整備するマンホールトイレの実施設計を行うなど、防災体制の強化を図ります。

## ⑤ 豊かな個性を育み未来を拓く 誇りあるまち【子ども・文教政策】

第5は、豊かな個性を育み未来を拓く誇りあるまちです。

希望する誰もが子どもを持ち、安心して子育てができる社会の実現に向け、

各面からの取組を強力に進めます。

まず、待機児童対策として、保育士等の安定的な確保に向けて処遇改善を行う保育所等に対し助成するとともに、潜在保育士の段階的な復帰に取り組む保育所等に対し助成します。

また、保育の受け皿確保に向けて、賃貸物件の活用や、3歳未満児の受入れを拡大する保育所等に対し助成するとともに、保護者や保育士等の負担軽減を図るため、利用児童の登降園管理や保護者連絡等のシステムの導入や更新に対し助成します。

さらに、物価高騰対策として、保護者の負担軽減を図るため、保育所等の給食費等に対し助成します。

放課後の子どもたちの居場所の提供と健全な育成を支援するため、児童クラブを運営するとともに、待機児童解消を図るため、新たに2箇所増設します。

また、児童クラブの保護者の利便性向上や職員の業務負担軽減を図るため、保護者連絡等のシステムを導入するほか、児童がタブレット端末を活用し学習できる環境を整備します。

子どもを安心して生み育てることができる環境を整えるため、医療的ケア児を受け入れる保育所等に対し、看護師の配置や災害時の非常用電源の整備等に対し助成するほか、幼児のフッ素塗布の自己負担を無料化するとともに、AIチャットボットによる子育て支援関連情報の迅速な提供を行います。

また、不妊治療に係る経済的負担の軽減を図るとともに、母子健康手帳アプリに各種教室等の予約サービスを導入し、利便性の向上を図ります。

さらに、マリーサポートかごしまにAIマッチングシステムを導入し、結婚支援の充実を図るとともに、婚活サポーターの活用などによる出会いサポー

トイベントを実施します。

児童虐待対策の強化のため、児童相談所の設置に向けて、県農業試験場跡地を整備予定地とし、用地取得の取組を進めるとともに、関係機関等との円滑な情報共有等を図るための児童相談システム導入の検討を行います。

また、子育ての悩みや不安を抱える保護者等に対し、親子関係支援プログラムを活用した支援を行うとともに、相談サロンとフードパントリーを同時開催するなど、児童虐待防止と育児負担の軽減を図ります。

子どもを社会全体で守り育てるという気運を醸成するため、こどもの未来応援条例のより一層の周知を図るとともに、取組事例集を作成するほか、子ども食堂の関係団体が行う学習支援の取組に対し助成します。

また、こども医療費助成について、県と連携した見直しを検討するとともに、児童手当の制度改正に向けて、システム改修や申請案内などに取り組みます。

学校教育の充実に向け、市立小・中・高等学校に電子黒板を整備し、ICT教育をさらに推進するとともに、世界最先端の科学技術研究を体験できるOIST（沖縄科学技術大学院大学）訪問プログラムに高校生を派遣します。

また、学校における働き方改革を推進するため、教員業務支援員を配置するとともに、休日における部活動の地域移行に向けたモデル事業を実施するほか、特別支援教育の充実を図るため、看護師資格を有する支援員を増員します。

さらに、不登校傾向の児童生徒に対応するため、新たにフレンドルームを設置し、相談員による学習支援等を行うとともに、メタバースや宿泊型体験交流活動の導入など支援の充実を図ります。

このほか、市立3高校において、スタンフォード大学のオンライン講座を

活用し、グローバルに活躍できる人材を育成するとともに、母校応援ふるさと寄附金の活用により教育環境の向上を図ります。

また、本市初の義務教育学校となる桜島学校の工事に着手し、校歌や校章の制作などを行うとともに、商業高校の男女共学化等に伴う学校施設を整備します。

さらに、紫原中学校の校舎建替を進めるとともに、鴨池小学校など5校の校舎建替に向けた設計や基本計画策定を行うほか、福平小学校のプール施設の改築や学校のトイレ洋式化を進めます。

このほか、学校プール施設の共用化や民間委託等を検討するため、モデル事業を実施するとともに、松元地域を中心とした新学校給食センターの整備に向け、P F I 導入可能性調査等を行います。

また、生涯学習プラザの舞台設備等の改修を行うとともに、企業連携やデジタル技術を活用した科学館のリニューアルに向け、基本・実施設計を行います。

さらに、電子図書館サービスにおける児童書のコンテンツを充実するとともに、美術館開館70周年記念シンポジウムや文化財保存活用地域計画の作成に向けたワークショップ等を開催します。

## ⑥ 質の高い暮らしを支える 快適なまち【都市・交通政策】

第6は、質の高い暮らしを支える快適なまちです。

にぎわいとゆとりある都市空間の創出に向けて、加治屋町1番街区市街地再開発事業を推進するとともに、いづろ交差点周辺地区における市街地総合再生基本計画を作成します。

また、歩いて楽しめるまちづくりを推進するため、高見馬場交差点歩道等

にポケットパークを設置する社会実験や、マイアミ通り歩道空間の基本設計などを行います。

新たな夜間景観の形成を図るため、歴史景観エリアにおける基本計画の素案を作成するとともに、モデル箇所の整備を行います。

また、谷山第三地区をはじめとする5地区の土地区画整理事業や稲荷川雨水貯留施設等の整備を進めるとともに、田上小学校周辺における生活環境の改善に向けた土地区画整理事業の検討を引き続き行います。

さらに、西伊敷第二住宅の建替工事を行うとともに、武岡第三住宅の建替基本計画を作成し、民間資金等を活用した建替手法を検討します。

このほか、子育てしやすい住まいと住環境を確保し、地域の活性化につなげるため、子育て世帯の住替費用の助成や地域の生活情報等の提供を行うほか、高齢者等が安心して住まいを確保できる環境を整備するため、関係団体等と連携した取組を進めます。

また、渋滞対策を総合的に推進するための基本計画策定に向けた検討を進めるとともに、市道の主要渋滞箇所において、既存道路を活用した渋滞緩和の取組を進めるほか、道路照明灯のLED化に向けた計画を策定します。

水道事業では、河頭浄水場甲系統の更新に向けた民間活力導入の取組を進めます。

持続可能な交通手段を検討するため、公共交通不便地におけるAIオンデマンド交通の実証実験を行うとともに、地域が自主的に取り組むコミュニティ交通の運行を支援するモデル事業を実施します。

また、路線バスやタクシーの運転者不足への対応のため、移住者に対し就職奨励金を給付するとともに、夜間の交通手段を確保するため、配車アプリを活用した相乗りタクシーの実証実験を行います。

さらに、地域公共交通ネットワークの再構築を図るための利便増進実施計画の策定に向けた基礎調査を行います。

交通事業では、併用軌道における交差点の改良を行うほか、モバイル定期券を導入し、利便性の向上に取り組みます。

### 3 条例その他の案件について

次に、条例その他の案件について、ご説明申し上げます。

鹿児島市言語としての手話への理解の促進及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例制定の件は、基本理念を定め、市の責務等を明らかにするとともに、市が推進する施策の基本的事項を定めることにより、全ての市民が相互に人格と個性を尊重し支え合う社会の実現に寄与するものです。

鹿児島市軽費老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件など12件（別紙1）は、介護保険法等に係る省令の一部改正に伴い、関係条文の整備をするものです。

鹿児島市介護保険条例一部改正の件は、令和6年度から令和8年度までの保険料率を定めるものです。

鹿児島市福祉事務所条例一部改正の件は、福祉部と谷山福祉部の統合に合わせて、福祉事務所の統合を行うものです。

鹿児島市指定障害福祉サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件など4件（別紙2）は、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に係る省令の一部改正に伴い、関係条文の整備をするものです。

鹿児島市指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件は、児童福祉法に係る省令の一部改正に伴い、関係条文の整備をするものです。

鹿児島市保育所条例一部改正の件は、鹿児島市中山保育園の定員を改めるものです。

鹿児島市児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例及び鹿児島市婦人保護施設の設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件は、困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の施行等に伴い、関係条文の整備をするものです。

鹿児島市指定介護療養型医療施設の人員、設備及び運営の基準に関する条例廃止の件は、健康保険法等の一部を改正する法律附則第130条の2の規定に基づく経過措置の終了に伴い、同条例を廃止するとともに、関係条例の整理をするものです。

鹿児島市母校応援ふるさと寄附基金条例一部改正の件は、同基金のさらなる活用を図るため、寄附者の範囲を改めるものです。

鹿児島市漁港管理条例及び鹿児島市風致地区内における建築等の規制に関する条例一部改正の件は、漁港漁場整備法の一部改正に伴い、関係条文の整備をするものです。

鹿児島市公営企業職員の給与の種類及び基準を定める条例一部改正の件は、新型コロナウイルス感染症に係る業務に従事した場合の特殊勤務手当の特例を廃止するものです。

鹿児島市立病院職員定数条例一部改正の件は、診療体制等の充実強化を図るため職員の定数を改めるとともに、職員の自己啓発等休業制度の新設に伴い同休業中の職員を定数外とするものです。

鹿児島市交通局職員定数条例一部改正の件及び鹿児島市船舶局職員定数条例一部改正の件は、自己啓発等休業中の職員を定数外とするものです。

鹿児島市給水条例一部改正の件は、水道法の一部改正に伴い、関係条文の整理をするものです。

鹿児島市水道局職員定数条例一部改正の件は、組織整備等に伴い職員の定数を改めるとともに、自己啓発等休業中の職員を定数外とするものです。

鹿児島市一般旅客定期航路事業使用料条例一部改正の件は、船舶事業の経営の健全化を図るため、普通旅客運賃等の額を改定するものです。

鹿児島市特定都市河川浸水被害対策法施行条例制定の件は、特定都市河川浸水被害対策法第38条第3項等の規定に基づき、雨水貯留浸透施設等の標識の設置に関し必要な事項を定めるものです。

鹿児島市消防団員等公務災害補償条例一部改正の件は、非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、補償基礎額の改定をするものです。

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件は、地方自治法の一部改正に伴い、関係条例の整理をするものです。

組織機構の整備に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件は、組織機構の整備に伴い、関係条例の整理をするものです。

職員の自己啓発等休業に関する条例制定の件は、地方公務員法第26条の5第1項等の規定に基づき、職員の自己啓発等休業に関し必要な事項を定めるものです。

鹿児島市職員定数条例一部改正の件は、健康福祉推進部及び児童相談所準備室の設置、教育DX担当部長及び火山防災専門官の配置、消防体制の強化

等に伴い職員の定数を改めるとともに、自己啓発等休業中の職員を定数外とするものです。

鹿児島市職員に対する退職手当に関する条例一部改正の件は、国立大学法人法の一部改正に伴い、関係条文の整理をするものです。

鹿児島市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例一部改正の件は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、関係条文の整理をするものです。

包括外部監査契約締結の件は、包括外部監査契約を締結するについて、議会の議決を求めるものです。

以上、市政に対する私の所信の一端を申し述べ、今回提案しました令和6年度予算案及び条例その他の案件についての説明を終わります。

これらの施策の推進に当たりましては、市議会のご理解とご協力をいただくとともに、市民の市政への参画を高め、市民とともにまちづくりを進めてまいり所存でございます。

なにとぞ、よろしくご審議のうえ、議決していただきますようお願いいたします。

(別紙1)

- 1 鹿児島市軽費老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件
- 2 鹿児島市養護老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件
- 3 鹿児島市特別養護老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件
- 4 鹿児島市指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例等一部改正の件
- 5 鹿児島市指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例等一部改正の件
- 6 鹿児島市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件
- 7 鹿児島市指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件
- 8 鹿児島市介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営の基準に関する条例一部改正の件
- 9 鹿児島市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例一部改正の件
- 10 鹿児島市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準に関する条例一部改正の件
- 11 鹿児島市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予

防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例  
一部改正の件

1 2 鹿児島市介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営の基準に関する  
条例一部改正の件

(別紙2)

- 1 鹿児島市指定障害福祉サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件
- 2 鹿児島市指定障害者支援施設等の人員、設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件
- 3 鹿児島市障害福祉サービス事業の設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件
- 4 鹿児島市障害者支援施設の設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件



リサイクル適性の表示・紙へリサイクル可